

<研究名称>

胆道・膵臓疾患における画像診断、内視鏡手技、治療法の向上と早期発見に関する研究
(旭川医大との共同研究)

<実施責任者及び実施担当者>

実施責任者 所 属 消化器科
職 名 部長
氏 名 藤井常志

実施担当者 所 属 消化器科
職 名 部長
氏 名 阿部真美

実施担当者 所 属 消化器科
職 名 副部長
氏 名 石川千里

実施担当者 所 属 消化器科
職 名 医師
氏 名 桃井環

実施担当者 所 属 消化器科
職 名 医師
氏 名 井尻学見

実施担当者 所 属 消化器科
職 名 医師
氏 名 岡田哲弘

実施担当者 所 属 消化器科
職 名 医師
氏 名 相馬学

実施担当者 所 属 消化器科
職 名 医師
氏 名 斉藤敦

<研究期間>

倫理委員会承認日～2024年12月31日

<診療・研究の目的>

現代医療の発達には科学的研究によって成し遂げられ、今後の発展に必須である。臨床における問題点を精査し、検討することによって診療の質を上げるとともに、新たな研究シーズにつながる。診療情報を用いた観察研究は、自分たちの臨床レベルの確認とその質の改善、さらに新たな問題点の発見にもつながり、継続的に行うことが求められている。

<実施内容（方法）>

2000年1月から2024年12月までの間に旭川医科大学病院消化器内科および関連施設（旭川厚生病院、旭川赤十字病院、市立旭川病院、遠軽厚生病院、名寄市立総合病院、札幌東徳洲会病院）に通院または入院した胆道もしくは膵臓疾患を有する患者および対象とする（疑診例を含む）。

<危険性（副作用）等>

本研究は診療情報を用いた観察研究であり、侵襲を伴わない。一方、本研究により胆道・膵臓疾患の診断治療に役立つ知見が得られるとともに自分自身の診療を振り返ることにより自己研鑽へとつながり、また関連施設間の違いを明確にすることにより、診療レベルの向上と均一化が望め、多くのメリットがある。本研究における研究手法は極めて一般的であり、倫理的・科学的に妥当であると考えられる。

<倫理上問題になると考えられる事項>

(1) 予想される利益（効果）

本研究へ参加することにより対象者に直接の利益は生じないが、研究成果により将来の医療の進歩に貢献できる可能性がある

(2) 予想される不利益

本研究に参加することによって予想される不利益はない。

<問い合わせ先>

当研究に自分の試料・情報利用を停止する場合等のお問い合わせ
〒070-8530

旭川市曙1条1丁目1番1号

旭川赤十字病院

消化器内科

TEL 0166-22-8111 ・ FAX 0166-24-4648